

事業名	市政広報事業
-----	--------

総事業費	7,444 千円
------	----------

① 計画 (Plan)

長期振興計画 の位置づけ	施策名	計画的で効率的な行政運営の推進
	基本事業名	情報発信・広聴の充実

② 実施 (Do)

事業の意図		広報紙やHP、SNS等、あらゆる媒体を活用し、西之表市の情報や魅力を知ってもらう。
事業の実績 と 成果	取組内容	市民全体、西之表市の情報を必要とする方に市政の内容や市内行事、ニュースを広く伝えるため、広報紙「市政の窓」、「お知らせ版」を発行した。市民等から依頼があった取材等に積極的に出向き、広報紙への反映に務めた。 H Pについては、28年度にリニューアルを行い、各担当者で編集作業を行う体制に移行しており、毎月1回HPの点検を呼びかけ、使用方法を周知するなどして対応した。また、29年度に策定した西之表市広報活動取組の指針に基づき、令和元年6月から広報用SNSの運用を開始し、フェイスブック、Instagram、ライン、ツイッター等で情報発信を行った。 庁内向けに広報手段一覧表を作成し、広報媒体の種類や活用方法等を提示し、職員等が業務の参考にできるよう努めた。
	成 果	「広報紙を読んでいる人の割合」は微増となった（市民アンケートの結果による）。また、市外から「市政の窓」を送付してほしいという問い合わせが数件あり、郵送料が増えた。「地元の情報を毎月楽しみに読んでいる」という意見もいただいた。 H Pについては、新型コロナウイルス感染症に関する情報発信等の影響があり、アクセス件数が一気に増えた。今後もアクセス件数が伸びる可能性がある。新型コロナウイルス感染症以外のページ等も引き続きいっそうの点検に力を入れたい。 SNSの活用について、新型コロナウイルス感染症関連の情報を発信した際に、いち早く反応があった。若者を中心に利用している市民が多いため、今後も引き続き活用していく。

③ 振り返り (Check)

事業実施上の課題 (事業担当者記入)	HPにチャットボット機能を導入し、ラインと連携して運営していく予定であるが、広報担当職員の操作方法の習得、庁内職員等への操作方法の説明や、市民への周知をどう行うかを検討する必要がある。 また、実際に運用して気付く様々な課題に対応する必要がある。
評価結果の根拠 及び今後の課題 (担当課長記入)	市民等からの要請に積極的に答えたり、内容等の工夫により広報誌を読んでいる割合の微増、H Pのアクセス増への成果が出たと思われる。 今後、多様化する情報伝達について市民の立場に立ったわかりやすい配信を心掛ける必要がある。

④ 改善 (Action)

2021年度方向性	「伝える」ではなく、「伝わる」情報発信を意識し、市民の立場に立った分かりやすい情報伝達を心掛ける。また、情報伝達の有効性を高める。
-----------	---

【参考資料】

※事業の取組内容・成果がわかる写真や図・グラフ等	説明